

手をたずさえて

自ら学ぶ生徒
正しく行動する生徒
健康でたくましい生徒



令和元年7月19日(金)発行

【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

あなどってはいけない“挨拶”の効果

- 先日本校で行われた会議で、日吉ヶ丘町内会の渡邊会長が「このところ、特に中学生の挨拶が素晴らしい！」という話をされました。学校だけでなく、地域でもしっかり挨拶ができる生徒が増えてきた証拠です。
- 中体連県中地区大会の折、ソフトテニス競技において、他校のテニス部顧問の先生から富中男子ソフトテニス部の生徒の挨拶が素晴らしいという話がありました。コート内の選手はもちろん、コート外の応援の生徒達が他校の先生方にしっかりと挨拶をしている姿がありました。また、顧問の齋藤先生は、他校の先生から「富中のテニス部のように挨拶のできる生徒を育てたい」という話をされたそうです。その話を聞いて、「なるほど！」と思いました。男子ソフトテニス部には、前部長の菅野柁羽君に代表されるように相手に伝わる挨拶のできる生徒達があります。そういった先輩の姿からテニス部全体に挨拶のできる流れができていたのだと思います。
- 2年2組の丸野和士君。昨年度学年集会でも話をしましたが、彼の挨拶も“ピカー”です。毎朝、横断歩道に立つ水野先生と私に、丸野君は必ず「校長先生、おはようございます。水野先生、おはようございます。」と気持ちのいい挨拶をしてくれます。丸野君は恥ずかしくはないそうです。挨拶が自然と身体に染みついているのだと思います。
- 朝、横断歩道に立っていると、あの急な坂を自転車をひきながら上ってくる郡山北工業高校の女子生徒がいます。彼女は、校門に立つ数名の先生方、横断歩道にいる我々一人一人に「おはようございます」と顔を向けながらしっかりと挨拶をしてくれます。とてもすがすがしい気持ちになると同時に「この生徒はきっと普段の生活態度や学習態度もきちんとしているのだろうな」と、その人となりや容姿を容易に想像することができます。しっかり相手に伝わる挨拶ができる人間は、周りに好印象を与え、得をします。

富中では毎朝「あいさつ運動」が行われています。まわりから富中生徒の挨拶が素晴らしいという話をよく聞きます。しかしながら、まだまだ改善の余地はあると感じます。相手に伝わる挨拶ができる生徒と挨拶ができない（挨拶という習慣が身に付いていない）生徒の差が大きいということ、挨拶をしても気持ちが込められていないため相手に伝わっていないなどの課題があげられます。

挨拶は相手の自分自身に対する印象を大きく左右します。気持ちを込めれば相手に伝わります。挨拶が良ければ、相手はその本気度を評価し、その第一印象は後々にも大きな意味を持つものです。さらに、挨拶を意識することで、自分自身にもメリハリをつけスイッチをしっかりと入れることができます。

店舗であれば、店の雰囲気が変わり、お客様の評価やリピート率に寄与し、中には「料理の味が変わって感じる」という客も出てきます。企業では、職場の雰囲気、仕事のしやすさ、社内コミュニケーションの円滑化、チームワーク向上、ミス・ロス低減、取引先イメージの向上など、様々な効果を発揮します。「企業（店舗）の評価＝売上・利益＝挨拶」という図式が成立し、挨拶ひとつで企業（店舗）全体が大きく変わります。だからこそ、多くの会社の社長さんが採用したい人材として「挨拶できる人間」をあげるのだと思います。

2年前の2学期始業式で、挨拶について話をしました。2年生には昨年度学年集会で話しました。もう一度言います。

相手を見て、相手にしっかりと伝わる声で、できれば相手より先に、遠くにいても挨拶ができる人間になってほしい。朝の「おはようございます」だけでなく、「こんにちは」「さようなら」もしっかり言える人間になってほしい。

『挨拶を軽く考えはいけない。あなどってはいけない』

挨拶はときにその人間の人生を大きく変える行為にもなり得るということを忘れないでほしいと思います。



富田地区あいさつ運動 7/16

夏休みの富中の最大の目標は、事故「0」の夏休みにすることです。事故とは、交通事故、火災事故、水難事故、喫煙・窃盗万引き・傷害などの非行事故、SNSによる誹謗中傷などの書き込みも含めたいじめなどの生徒指導事故など、あらゆる事故をさします。特にスマホ・携帯等の通信機器の危険性については、先日の講習会で学んだとおりです。軽い気持ちでやったことが、取り返しのつかない事態を引き起こしかねないということを再確認してください。また、この夏休み「はめをすそう」と考えている人もいるかもしれません。きみたちは、長期休業中でも、社会、そして学校のルール・きまりの上にあることを忘れずに、決して後々の自分や他の人の心に傷をつけることがないようにしてほしいと思います。さらに、一人一人が「命の重さ」を胸に刻み、全校体制で事故「0」という言葉を肝に銘じながら夏休みを乗り切っていきましょう。

最後に、県大会で出場する女子卓球部、特設水泳部、吹奏楽部、野球部、サッカー部、さらには東北大会に出場する陸上部の生徒達の悔いを残さない精一杯のプレーを期待しています。その他、各種大会やコンクール、検定等に挑む生徒もたくさんいると思います。そして、3年生にとっては受験への重要な準備期間となります。一人一人がそれぞれの置かれた場所で精一杯チャレンジしてほしいと思います。

～第1学期終業式 校長式辞から～

一学期の反省と夏休みの抱負

終業式では、各学年の代表生徒が『一学期の反省と夏休みの抱負』を発表しました。1年は西本夏菜さんが初めてづくしの三ヶ月間を振り返り、家庭学習の仕方や時間の使い方について発表しました。2年の千葉桃佳さんは、学年全体の課題“メリハリ”をつけた生活や学習と部活動の両立について発表し、3年の相良優結さんは、仲間と団結できた部活動を振り返り、部活動で培った根性と忍耐力を受験勉強に生かすという発表をしました。さすが学年代表です。3名とも聞き手に伝わる堂々としたすばらしい発表でした。

お詫びと訂正

学校だよりNo.16に掲載しました吹奏楽部の記事の演奏メンバーの生徒氏名に誤りがありました。2年「菊池優奈」さんは「菊池優菜」さんの誤りでした。訂正させていただきます。申し訳ありませんでした。



学び合う姿（3年7組）

お知らせ

昨年度感動の演奏とトークを披露してくれたあの増田太郎さんによる講演ライブが今年度も実施されることになりました。期日は11月22日(金)です。同一校2年連続の講演ライブ開催は前例がないと思います。太郎さんも富中生との再会をととても楽しみにしています。あの“太郎ワールド”が再現されます。

そんな太郎さんの気持ちに答えるためには、学校がより良い状態の中で太郎さんを迎え入れることだと強く思います。



保護者の皆様へ

夏休みを迎えるにあたって...

保護者の皆様におかれましては、1学期の教育活動に対するご理解とご支援に感謝いたします。PTA活動に関しましても、皆様のご協力のもと、各委員会の活動が活発に展開されております。夏季休業中におきましても、各委員会活動が実施されることもあります。今後ともよろしく願いいたします。そして、お子さんにとって是非とも“何かを得ることができた夏休み”になるよう、ご指導・ご助言をお願いいたします。

- ◆ 交通事故、水難事故、非行事故等…あらゆる事故防止のためにご指導をお願いいたします。また、お子さんの動向や交友関係の把握、過日実施しましたSNS講習会でもその危険性を認識されたと思いますが、スマホ・携帯等の情報通信機器の使用状況についても心配をお願いいたします。
- ◆ 毎日の学習時間の確保と部活動への積極的参加に対するご支援をお願いいたします。部活動につきましては、休業期間中のため、上限週5日の実施で計画を立てております。
- ◆ 通知票については、各教科の評定が気になるころですが、「学校からのお知らせ」に着目していただきたいと思っております。担任が思いや願いを込めて記入しています。頑張ったこと、成長した点、改善点などが記載されております。それらを受けての励ましをお願いいたします。

◎ この夏休み期間中、何かありましたら、担任、学校等にご連絡ください。